

大崎上島育ちの広島縞かきが海外で高評価



～ 塩田跡地を利用した、広島ブランド縞かき養殖技術の確立 ～

連携機関 | 大崎上島町かき生産者ファームスズキ

研究期間 | 平成7, 8～12, 13～17, 25, 26年度[国補研究, 研究開発課題, 依頼研修, ギカジ]

技術支援のきっかけ

- ◆ ファームスズキでは水産物卸売会社勤務の経験から、海外市場では一般的となっている殻付での生かきの販売を、広島かきで実現したいとのニーズがありました。
- ◆ そこで、親貝の管理、種苗生産、餌料培養等一貫した生産体制の構築のための技術支援が求められました。

技術支援の内容

- ◆ ファームスズキの生産計画に合わせて、親貝（縞かき）を預かり水産海洋技術センターで飼育しました。
- ◆ 最も重要なかきの種苗生産技術については、水産海洋技術センターにおいて飼育担当者への研修を実施して技術習得してもらうとともに、現地でも水産課と連携した指導を実施しマニュアル化を図りました。
- ◆ 技術支援後には生産が安定し、約2倍の生産が可能となりました。

かきを養殖する塩田跡地での現地指導



技術支援後のビジネス展開



技術支援の活用場面

- ◆ センターの一粒かき生産技術により、殻付かきで重要視される殻の形が良いかきが生産できます。
- ◆ 計画的、安定的な生産に欠かせない、かきの人工種苗生産技術を指導できます。
- ◆ 独特な殻の縞模様から、一目で広島産とわかる縞かきの生産が可能となります。

問い合わせ先 | 水産海洋技術センター 技術支援部 | TEL 0823-51-2173